



BS通信尾張東地区

# スカウトかわらばん

発行:ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区委員長 横江昭憲

NO.1 創刊号 2003.4.1



## スカウトかわらばん発刊を祝して

尾張東地区協議会長 北 末男

尾張東地区にもスカウト新聞が「スカウトかわらばん」という名で創刊号が発刊されるということで、大変喜んでおります。又編集に携われた方々ご苦労様でした。今後この「かわらばん」をもって各団・各隊の活動等の情報源になるのではと期待しております。特に活動の内容等をスカウト達にも分かりやすくすれば興味を持つのではないかと思います。又保護者の方々もスカウト同様に興味を持たれることと思っております。そうした事が地区の活性化又スカウトの増員にもつながるものと思っております。今後各団及び各隊の活

動記事を一つでも多く投稿され、素晴らしい「かわらばん」にさせていただきたいと思っております。最後に編集に携われた方々の、ご活躍されんことを心よりお祈り申し上げます。 弥栄



## 発刊に寄せて

尾張東地区委員長 横江昭憲

尾張東地区内の各団育成会会員の皆様、各団指導者の皆さんこの度地区広報委員会の皆様の努力により、地区広報紙を初めて発刊する事になりました。初めてのことで皆様方の思いや広報委員会の皆様の思いが上手に紙面化出来ていないかも知れませんが、是も第2、第3回と続けることによって望ましい紙面構成に成っていくものと思っております。又続けるためには記事の取材が大きな仕事になってきますので、各団とも原稿を依頼されましたら気安く応じていただきます様をお願いします。この広報紙を通じて各団の情

報を開示して頂きまして、この広報紙を見れば各団の行事、プログラムが一目瞭然となり各指導者やスカウトの反省や発奮の基に成るように編集して頂きたいと思っております。

終りにあたり各団育成会会員、各隊リーダー、スカウトの皆さんの発展とご健勝を祈念し、又広報委員長を始め委員の皆様のご努力をお願いして挨拶に代えます。



## 「スカウトかわらばん」創刊によせて

尾張東地区コミッショナー 北川養正

尾張東地区が発足して満20年が経過し、ようやく地区広報誌「スカウトかわらばん」が刊行されることになりました。これまで地区のいろいろな活動は、個人の記憶の中でのみ止まり、公に成否を評価されないまま、やがて忘れ去られる状態でした。

地区の広報誌にいろいろな地区活動の様子が掲載されることで、参加したスカウトはもとより、そのプログラムに参加できなかったスカウトにも感動を与え、次に行われる活動への参加意欲の喚起につながるでしょう。

また、それぞれのプログラムの実施展開に関わった指導者にとっては、その活動に対する客観的な評価・反省の機会が与えられ、次の活動計画により一層の充実を目指す資料として活かされます。

さらに各団、各隊からの活動報告は、様々な情報の提供・交換の場として活用されることでしょう。

広報誌の内容の充実は、地区や団のスカウト活動全般をより充実させる原動力になると言っても過言ではありません。生き生きとした諸活動の記事や写真は、幅広いスカウト運動の広報活動におおいに貢献するに違いありません。

地区広報誌が活動記録のみにとどまらず、尾張東地区の進むべき道を指し示す道標としての使命をも担うものと位置づけ、編集に携わる広報委員会委員のご苦労は大変であろうと思っておりますが、積極的な取材活動を展開されることによって、内容豊富な「スカウトかわらばん」が刊行されることを期待します。

## 緑と太陽と人の街から 尾張旭1団

平成14年6月 ビーバーラリー



森林公園を代表とする自然に恵まれ、昭和33年の発団以来、質素堅実を基に、基本に忠実なスカウティングを目指して今日に至っております。時代と共に変わりつつある家庭と子ども達の社会力・地域の教育力を念頭におき、各年齢の特質を踏まえたスカウトの技能の体得（奉仕・野外活動・工作・観察等）のみにこだわる事なく、地域行事・他の方々との交流も視野に入れ、地域・保護者・指導者と三位一体の努力を重ねております。

特に近年は少子化傾向に加え、学校休業日における選択肢が多岐に渡り、スカウト募集も活動の活性化やより一層の理解を求める為にも、重要な要素となってきております。

スカウト達が受身になる事無く、自発的に挑戦を続け、ひとりひとりが主役になれるように、これからも多くの方々のご理解とご支援・ご協力をお願いする次第です。

## ひかり輝くボーイスカウト瀬戸第1団

<http://members.tripod.co.jp/bs1seto/>

団発足以来50年余、常にスカウト精神を引継ぎ、かつその時代に即した団運営を計ってまいりました。特に今は、指導者が教育規定に則り楽しく隊運営を行えば、スカウトも楽しく活動ができ、知識・技術の吸収力もすばらしいものがあると言う観点から『指導者の和』に重点をおいております。

その結果、瀬戸第1団のスカウトは、のびのびと光り輝いております。昨今、沈滞化した社会ではありますが、将来、瀬戸第1団のスカウトが『良き社会人』として、日本、いいえ、世界に羽ばたいてくれると思うと、一筋の光明が見えます。また、そのように信じております。これも瀬戸第1団を取り巻く方々のおかげとこの場をお借りしまして深く感謝申し上げます。

今後とも瀬戸第1団に対しご理解とご協力の程、宜しく願い申し上げます。

平成14年9月 せともの祭りパレード



## 団紹介 瀬戸4団

平成14年8月 記念撮影



発団式1970年5月、ボーイスカウト日本連盟より瀬戸4団3月31日付けで加盟承認。当団は瀬戸西部地域に位置し、長根公民館を拠点として、団会議等定期会合、雨天集会等を行っている。活動は公民館地内、隣地の八王子神社境内、瀬戸川河川敷、又少し足をのばして森林公園、定光寺周辺、赤津白坂キャンプ場等手近で活動出来る環境に恵まれ幸に思います。

発団以来32年余を経過し近年の教育環境の変化、親の子に対する期待の大きさでの塾通い勉強重視、しかも少子化時代隊員減少で厳しい時期ではありますが、高校入試の内申書にボーイ活動の評価又女子隊員の募集等を考慮しながら団員、リーダーも一体になって隊員増強に一層の努力を致しております。今後共地域の皆様のご支援、ご協力を頂き、瀬戸4団の益々の発展を願っております。

## 団紹介 瀬戸第5団

<http://tekipaki.jp/seto5/>

瀬戸第5団は昭和47年3月31日深川公民館で発団審査会石原愛知県連コミッショナー、吉田尾張地区コミッショナー他数名を迎え団及びカブ隊審査が行なわれ、その年4月14日瀬戸第1団より瀬戸第5団瀬戸第6団が分封当団初登録46名で発団しました。その年6月11日瀬戸市民会館で瀬戸第6団と合同分封発団式のセレモニーを盛大に終えました。

昭和52年10月から始まったカブ隊月の輪御在所登山はカブスカウトのまちどおしい憧れの登山として今日まで引継ぎされている活動の一つです。

訓練は瀬戸南公園、道泉公民館、窯神社、赤津長谷口町には瀬戸第5団トムソーヤ野営場にスカウトハウスを持ち活動訓練しております。これも地域の青少年健全育成を願う人々の温いご支援と実現に向けて協力、奉仕出来る人達に支援され今日の瀬戸第5団があります。

スカウト諸君へ改めて皆様へ感謝し、立派なスカウトとなるべく努力して下さい。それが将来社会へ奉仕出来る人間として一助になると思います。

保護者の皆様へボーイスカウトへ入れて良かったと云れるようリーダー、諸姉姉も努力頑張っています。

今後共50周年をむさし団関係者一同一致協力して、地域の皆様方に奉仕出来る瀬戸第5団となるよう一層努力してまいります。

昭和47年3月 発団審査会





## 瀬戸第6団のご紹介

平成14年12月 発団30周年記念



瀬戸第6団は、昭和47年に発団しました。平成14年12月7日には、瀬戸文化センターにおいて発団30周年記念式典を盛大に開催できました。これもひとえに皆様のおかげだと思います、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

6団のスカウトハウスは、名鉄瀬戸線の瀬戸市役所前駅を、北へ少し上がった所にあります。金神社の敷地の中ということもあり、とてもいい環境の中にあります。見た目には立派な建物とは言えませんが、スカウトやリーダー達の活動の歴史が詰まったスカウトハウスは、とても立派に見えてしまうのは、私だけでしょうか？ お近くに御寄りの際はのぞいてみてください。

14年度の活動では、30周年記念行事としての御岳登山や、記念植樹、タイムカプセルの埋設なども行なわれました。これからも多彩なスカウティング活動を地域の皆様と共に計画し、活動していきたいと思っております。

## 今日はBS瀬戸第8団です

かわらばんの創刊をお祝い致します。

昭和50年4月に発団した小さな8団です。

地区の小学校は2校です。少子化の波をまともに受けて居ます。先輩達の努力により今日までスカウト活動を続ける事が出来ました。

残念な事は8団専用キャンプ場が利用出来なくなったのです。

歩いて行く事も出来、キャンプして居る傍らをハイカーが通り時には我々の活動を見せる事が出来たそんなキャンプ場でした。

地域の皆様の御協力で広場にアルミバンを倉庫として置く事が出来、その上スカウト活動の本拠地として広く利用して居ます。道具を1ヶ所に保管する事により、隊長の苦勞を少しでもやわらげ、なおかつ夜間集会や雨天時には隣りにある公民館を利用したりして、スムーズな団運営が出来ます。これからもスカウト活動をスムーズに進める様団委員、リーダー及び父母が一体となって、進めたいと思っております。

平成14年9月 せともの祭りパレード



## 日進第1団紹介

平成15年 新年左義長祭り風景



日進第1団は1974年(昭和49年11月)に結成致しました。当団は日進市の北部に位置し、名古屋市と長久手町に隣接しております。また活動の拠点であるスカウトハウスは、発団の発起人の一人であった故森満中氏の五色園大安寺境内をお借りして建てており、現在もこの広大な境内を中心にビーバーからローバースカウトまで舎営、野営を問わず年中活動することができます。

左の写真は例年行っております新年の左義長祭りの風景ですが、最近ではなかなか体験できなくなった行事などを行える幸せを感じております。 団の構成メンバーは ビーバーS 9名、カブS 28名、ボーイス 15名、ベンチャーS 4名、ローバーS 2名、リーダー 58名 合計102名から構成しております。当団は来年30周年を迎えるに当たって、地域社会への貢献を中心に活動の充実を図ることを今年の目標と致します。皆様どうぞよろしくご指導ください。

## 日進第2団紹介

名古屋市近郊の東部にあり、自然に恵まれた日進市で、スカウト70名、指導者42名の日進第2団は、元気に活動しています。

盲導犬募金、アイススケート、熱田神宮から日進市までの冬の夜間ハイク、スキー訓育など各隊での集会を初め、合同集会では、趣向を凝らしたクリスマス会、年頭の安全祈願そしてBP祭、その他赤い羽根募金、ゴミ0運動、水質検査など地域活動にも参加しています。また、一昨年には15周年を迎え、7月に記念合同キャンプを行いました。一般の方々60名程参加していただき、130名での盛大な記念行事となりチームワークを感じた1日でした。

これからも、日進第2団よろしく。

平成13年 15周年記念合同キャンプ



## 長久手第1団紹介

1981年(56年度)4月ボーイスカウト長久手第一団カブスカウト33名リーダー20名合計53名でスタートしました。翌年スカウト増員の為カブスカウト2隊とボーイ隊1隊となりました。

平成14年9月 入隊上進式



1985年(60年度)5周年記念  
1990年(平成2年)10周年記念  
1995年(平成7年)15周年記念  
2000年(平成12年)20周年記念式典  
5月28日文化の家風のホールで。  
1995年(平成7年)フィルモント3名  
1997年(平成9年)1名  
1998年(平成10年)1名  
1999年(平成11年)1名 以上の6名  
をアメリカ合衆国フィルモント派遣。

地域の行事では 左義長 募金 ゴミゼロ運動

町民まつりなどは毎年行っております。これからスカウト増員の為、楽しく活動できるようみんなががんばります。

## スカウト通信 尾張東地区BSハイキング大会

平成15年2月2日(日)尾張東地区主催で長久手町内6ヶ所のポイントをもうけて開催されました。

愛知県農業試験場桜公園を基点として、読図・コンパスを前提にゲーム形式でスカウトスキルを競い合う事をテーマにBS9隊11班で挑戦した。

スカウトはポイント課題にチャレンジするがなかなか思い通りにできない班、時間オーバーでポイント通過することができない班などそれでも寒い一日を元気いっぱい楽しく、とっても良いハイキング大会でした。寒さの厳しい時に支援して頂いた地域の方々、地区役員、団委員、隊リーダーの皆さんに感謝いたします。

### 愛知県農業試験場桜公園開会式



瀬戸第5団 渡邊正行



ポイント2 御嶽神社  
ネイチャーゲーム

ポイント3  
長久手1団野営場  
火おこしゲーム



ポイント5 古戦場公園  
計測ゲーム



### 【広報委員会】

谷口錠利(尾張旭第1団) 伊藤靖史(瀬戸第1団) 宮地勇吉(瀬戸第4団) 小川 孝(瀬戸第5団)  
西村俊夫(瀬戸第6団) 梶田仁真子(瀬戸第8団) 船山有美子(日進第1団) 村瀬廣子(日進第2団)  
中田富男(長久手第1団) 山田高司(地区副コミッショナー)

【編集事務局】 〒489-0888 瀬戸市原山台3-13 尾張東地区広報委員長 渡邊正行  
編集担当 瀬戸第1団 伊藤靖史

発行部数 1,200部